

無垢フローリング(低温床暖対応)の施工方法

低温床暖について

1. 温水マット式床暖の場合、フローリング下に必ず合板捨貼(12 mm厚)をご使用ください。
2. 電気パネル式床暖の場合、パネルの上に直接施工できます。小根太部分にウレタン接着剤と釘を併用して施工してください。パネル温度を40℃以下で設定してください
3. 電気シート式床暖の場合、 \varnothing 303ピッチにシートを並べて、シートとシートの間が30 mm位合板がむき出しになるタイプの場合でシートの上に直接施工できます。小根太(合板)部分にウレタン接着剤と釘を併用して施工してください。シート温度を40℃以下で設定してください。

施工前の注意

1. 保管する場所は湿気の多い場所を避け、極力直射日光が当たらないようにし、水平に置いてください。
2. 天然の無垢製品ですので、多少色柄が異なります。必ず施工前に仮並べを行い、色柄あわせを行ってください。
3. 問題がある場合は施工せずに、弊社に連絡してください。施工後のクレームは原則としてお受けできません。

施工上の注意

1. 接着剤は一液ウレタン樹脂系接着剤を使用してください。
2. スクリュー釘かステープル釘(38 mm以上)を使用してください(約45度の角度で小根太上に確実に打ってください)。
3. スペーサー(0.5 mm厚程度)で必ず隙間を設け施工を行ってください。
4. 部屋の端部においては、フローリングの端面の突き合わせ部分から5 mm程隙間を空けて施工してください。

施工後の注意

1. 表面保護のため、必ず養生シートを全面に敷いて、砂などが入らないように養生してください。ただし床材に直接養生テープを使用することは避けてください。塗装剥離を起こす可能性があります。
2. 養生シートを引いた後で作業を行う場合は、床材表面に傷をつけないようにフロア養生板でさらにカバーされることをお勧めいたします。
3. ストープ・電気カーペット等をご使用の場合は、狂いが生じる可能性がありますのでご注意ください。